

## 令和2年度 ビジネス実務学科第4回FD・SD研修会実施報告

日時：令和3年3月5日（金）14:40～15:40

講師：ビジネス実務学科 教授 瀬戸就一

テーマ：学修評価シートの見直し

参加者：藺森、藤元、井戸、越野、坂上、瀬戸、丹羽、廣瀬、矢澤、若月

欠席者：加藤、高田

前回のFD・SD研修会で設定した学習成果の項目について、ディプロマ・サプリメント（学修カルテ）に出力することも念頭に入れ、再検討を行った。

⇒各コースで学習成果の項目数が異なっていたため、令和4年度入学生向けに大きく改変することとし、今回は学習成果で定義してある項目の表現方法について再検討する程度に留めることとした。

本学科では、学習成果は、「人間性」が2項目、「社会性」が4項目、「専門性」が10項目の合計16項目で定義されている。今回、この学習成果を意識して、各授業の評価において、もっとも重点が置かれる項目には◎印、重要度はそれ程高くないが評価の規準となっている項目には○印がつけられているかどうかの確認作業を行った。なお、確認作業は以下の観点に従って行った。

### <見直しの観点>

- 1) ◎が授業科目の評価項目になっていること。
- 2) 人間性、社会性、専門性(1)までの範囲で、原則○+◎の数が1～4個程度になっていること。  
削除は斜線、追加は赤色等で記入する

